

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年3月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	一般社団法人RoFReC		代表者名	岡田吉弘
担当者部署	メンター育成事業課		連絡先電話番号	090-7594-1230
担当者役職		担当者氏名		連絡先E-mail
住所	723-0003 広島県三原市中之町4-8-26			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	三原市	連絡先部署	経営企画課	
担当者氏名		連絡先電話番号	0848-67-6270	連絡先E-mail

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森本 登志男
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	2018年度の地域ICTクラブの事業から、今後の展開に向けて、とても親身になって、相談にのってくださった。具体的な提案を多くいただくことで、これから何をすべきか、計画が明確になった。
アドバイザーへの要望事項	来年度に向けて、また前進あるのみですので、引き続きよろしく願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年3月5日	16時00分	17時00分		60
3-2. 派遣場所	会場名	DIAGONAL RUN TOKYO		最寄駅	東京
	所在地	東京都中央区八重洲2丁目8-7 福岡ビル4F			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	法人代表	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	2018年度の地域ICTクラブ事業でつくったモデルは、地域、観光、教育など、さまざまな分野において魅力的であるが、それらを誰に対してどのように訴求していくか、ということが課題である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	観光振興、という観点から、具体的な提案を瀬戸内海で実証していくことにする。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	コミュニケーションロボットを、観光の動態調査に活用することで、今後の展開が広がるということ。より実用的な活用方法で計画をつくること。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	新年度に向けてさっそく観光関係の業者へ提案活動をスタートする。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今後の予算については、持ち越しとなった。まずは、提案活動を進めるにあたり、どれぐらいの経費がかかるかということをも課題として明確にしたい。	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	新年度早々に、まずカタチにすることに挑戦する。その後、それを踏まえて、具体的な予算化を図る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

